



スマートメーターの力で水道も“つながる”時代へ！ ～東京電力のネットワークを活用した共同検針の実証スタート！～

横浜市水道局と東京電力パワーグリッド株式会社(以下「東電 PG」)は、令和7年 10 月から一部の住宅等に水道スマートメーターを設置し、東電 PG の通信ネットワークを活用した共同検針の実証をスタートしました。

1 本実証の概要

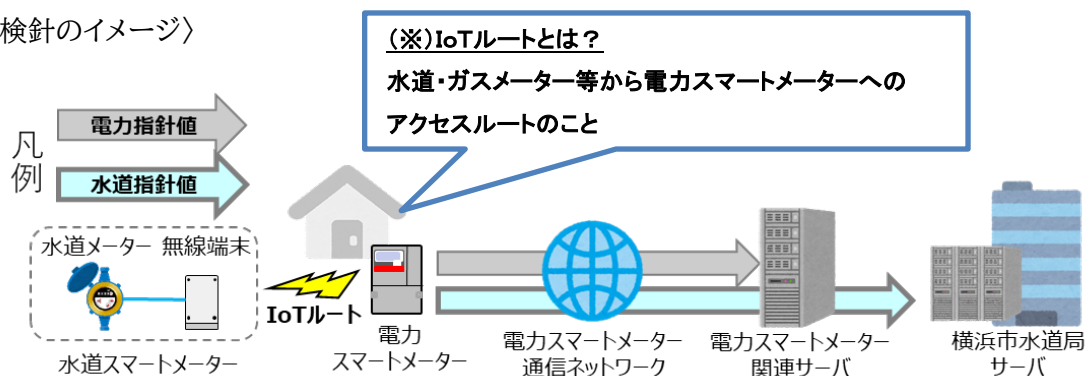
(1) 実証の目的

令和 6 年度から横浜市水道局施設内で実証実験を行い、IoTルート※の信頼性検証を進めてきました。今回、水道を使用する一部の住宅等に水道スマートメーターを設置し、その成果・課題の抽出を行います。

【想定する成果・課題】

- ① 共同住宅および住宅地・店舗等での通信の安定性の検証
- ② 悪環境下(水道メーター埋没等)での通信の安定性の検証
- ③ 従来の水道メーターから水道スマートメーターへの交換方法の確立 等

〈共同検針のイメージ〉



(2) 実施場所・導入戸数

ア 保土ケ谷区

- ① 戸建、店舗、共同住宅(94 戸):7 年 10 月初旬に設置
- ② 共同住宅(91 戸):7 年 12 月中旬に設置予定

イ 西区

共同住宅(607 戸):7 年 10 月中旬に設置

ウ 中区

共同住宅(219 戸):9 年度設置予定

(3) 実施内容

従来の水道メーターを水道スマートメーターに交換し、電力スマートメーターを通じて東電 PG の通信ネットワークを利用することで自動で検針データを送信します。

なお、一定期間は検針員による検針を併用し、データの信頼性を検証します。

裏面あり



GREEN×EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷

2 今後の展開

水道スマートメーターの導入により得られるデータを活用し、使用水量の見える化や漏水の早期発見などの市民サービスの向上を図るため、令和10年度から市内全域への導入を開始します。

導入にあたっては、東電PGとの共同検針に加え、令和元年より実証実験を行っている携帯キャリア通信による自動検針のそれぞれの特性を活かし、効率的かつ効果的な展開を進めていきます。

【参考】

〈水道スマートメーター（分離型）〉

○ 水道スマートメーターとは

現在は、現地に検針員が赴き目視で水道メーターを検針し使用量を確認していますが、水道スマートメーター使用水量の指針値を電波に乗せて水道局に送ることで、現地に赴かずに遠隔で自動的に水道使用量の取得が可能となります。



○ 共同検針の主な特徴

共同検針とは東電PGの通信ネットワークを利用し、水道メーターの指針値を水道局に自動送信する仕組みです。

東電PGエリア内においては電力スマートメーターの全数設置が完了していることから、新たな通信ネットワークを構築することなく、水道メーターデータの送信が可能になります。

○ 水道スマートメーター導入のメリット

市民(利用者)のメリット

①使用水量の見える化

毎日、1時間ごとの使用水量データが確認できるように！

②漏水・トイレの故障などの早期発見

③一人暮らしの高齢者も安心

水の不使用などの異変を察知！見守りにつながります

④検針員の敷地内立ち入りがなくなる

水道局のメリット

①担い手不足への対応

②災害対応力の強化

震災時に迅速に断水エリアを特定でき、円滑な復旧作業が可能に！

③施設整備の最適化

使用状況をより詳細に把握することで、より効率的な設備投資につながる

④脱炭素の推進

検針票のペーパーレス化や現地訪問がなくなることによるCO2削減効果も

お問合せ先

【実証実験や水道スマートメーター等に関すること】

横浜市水道局経営企画課担当課長（イノベーション推進担当） 大塚 将文 Tel 045-671-4886

【共同検針や電力スマートメーター等に関すること】

東京電力パワーグリッド株式会社 秘書・リスクマネジメント室 Tel 03-6373-1111（代表）



GREEN×EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷

